

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○		○		○	○	○	

企業の概要

社名	ベーリンガーインゲルハイム ジャパングループ	都道府県	東京都
業種	製造業	従業員数	約2,200人
事業概要	医薬品の製造、研究開発、輸入、製造、販売		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定し、ガイドラインも社内に公開
テレワーク担当部署	人事本部
テレワーク対象者	全社員（営業職、工場勤務者を除く）
実施者数	モバイルワーク：ほぼ全社員 上記以外のテレワーク：約420人（対象社員の約 75.5% ）
実施日数	モバイルワーク：毎日 上記以外のテレワーク：月平均1回以上

テレワークの導入・拡大の経緯

- 人事本部のひとりの社員の気づきと提案に賛同し、テレワークの推進に貢献したいという思いを持つ社員が**自主的に立候補**で集まり、プロジェクトを結成。
- 多様な本部からのメンバーによる**サウンディングボード**を立ち上げ、ITやマーケティング、法務などの観点も早い段階から組み込み、制度設計や推進に活用。
- 小さく始めて、改善を重ね、素早く拡大**するために、まずは人事本部内でパイロットを実施。そこであぶりだした課題に改善を重ねた後、全社パイロットに拡大。機動力と改善力の掛け合わせで、プロジェクトの結成から**11ヵ月という短期間で正式導入**に至った。
- スピードだけではなく、アンケートの分析や説明会、ヒアリング、結果のシェアは、**丁寧かつ頻繁**に実施し、社員の声を拾い上げることで実際に機能する制度に作り上げるとともに、社員の声をすぐに経営陣にフィードバックし、**会社の方向性と合致**させることで、社員ならびに経営陣の強いサポートを獲得。

テレワークの概要・特徴

- "Maximum Freedom **いつでも・どこでも・理由を問わず**" のコンセプトのもと、非常に柔軟性の高いテレワーク勤務制度を導入。
 - コアタイムのない完全フレックス勤務との掛け合わせが可能
 - 5:00～22:00まで5分単位での分割利用が可能
 - 日本全国で実施可能（一部、酒席等は除く）
 - 理由は一切問わない
 - 申請不要（原則、前日までに上司と部下で合意のみ）
 - 週当たり最大5営業日利用OK
 - 人と人との直接的な交流も大事にするべく、月間総労働時間の50%程度の出社も同時に奨励（出張、オフサイトも出社に含む）。
- "**Design Your Day!**" というグループ独自の働き方改革のキーワードとも連携し、推進。
 - 1日24時間をどう"デザイン"するかは自分次第
 - 限られた時間で最大の成果を！ On/Offともに"時間の質"を上げよう！



テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

- 2018年4月にアンケートを実施。回答した社員の**97%が「テレワークは利点がある」、上司の90%が「自身の組織に有効」と**回答しており、非常にうまく機能していることが分かる。
- 社員の時間や仕事、効率に対する意識の変化
 - 社員のモチベーション、エンゲージメントの向上
 - ITリテラシーの向上
 - ライフステージの変化とキャリアの両立（結婚・育児、介護・看護、病気・ケガの治療など）
 - テレワーク勤務利用者のライフ・ワーク・バランスの拡充
 - 天候・自然災害や交通障害など、突発的な事象に対応
 - 障がいを持つ社員の安全確保
 - 時差Biz推進賞ワークスタイル部門2017受賞による取材でのPR効果